



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 日鐵商事株式会社

コード番号 9810 URL <http://www.ns-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今久保 哲大

問合せ先責任者 (役職名) 総務法務部 担当部長

(氏名) 岩崎 文夫

TEL 03-6225-3500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	555,668	6.2	5,793	0.8	6,108	2.1	3,489	△0.4
23年3月期第2四半期	523,253	22.5	5,748	72.0	5,980	139.4	3,502	211.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,068百万円 (18.6%) 23年3月期第2四半期 2,588百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	25.73	—
23年3月期第2四半期	25.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	326,817		54,145			14.2
23年3月期	332,390		55,967			14.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 46,490百万円 23年3月期 48,159百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	2.00	—	5.00	7.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,180,000	9.3	12,000	△3.9	12,000	△5.9	7,500	0.9	55.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	134,801,000 株	23年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	298,811 株	23年3月期	294,717 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	134,504,231 株	23年3月期2Q	134,565,390 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

平成23年9月16日発表の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成23年10月28日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は平成23年11月10日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

種類株式B	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	73.50	—	71.50	145.00
24年3月期	—	72.0355			
24年3月期（予想）			—	72.0355	144.071

(注) 1 種類株式B 1株当たりの優先配当金の金額につきましては、定款の定めにより、種類株式B 1株当たりの発行価額（10,000円/1株）に毎年3月31日（当日が銀行休業日の場合は前営業日）の全国銀行協会が発表する6ヶ月物の東京日本円銀行間金利申込利率（以下、「6ヶ月物円TIBOR」という。）に1パーセントを加えた利率を乗じた金額となっております。

なお、第2四半期末配当を行ったときは、1株当たり期末配当の金額は1株当たり第2四半期末配当の金額を控除した額となっております。

2 第2四半期末配当金の金額につきましては、種類株式B 1株当たりの発行価額の2分の1に9月30日（当日が銀行休業日の場合は前営業日）の6ヶ月物円TIBORに1パーセントを加えた利率を乗じた金額が上限となっております。

3 24年3月期（予想）の1株当たり配当金は、平成23年9月30日の利率を適用して算出しております。

4 種類株式Bの当第2四半期末発行済株式数は400,000株（23年3月期末発行済株式数は800,000株）であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（以下、「当第2四半期」という。）の世界経済は、先進国は、米国経済の減速、欧州の財政・金融不安、日本の震災影響などから、総じて低成長に止まりました。一方、新興国は、比較的の高い成長を維持したものの、インフレ懸念に伴う金融引締め、先進国向け輸出減少などから、拡大テンポはやや緩やかになりました。

我が国経済は、3月の東日本大震災と原発事故による落ち込みから、サプライチェーンの復旧による自動車生産の回復などによって持ち直しましたが、未曾有の円高により大きな影響を受けました。

鉄鋼業界においては、国内需要は、3月の震災により製造業向けを中心に大きく落ち込んだ後、自動車向けの回復などから持ち直しましたが、前年同期をやや下回る水準となりました。輸出需要は、世界経済の拡大テンポが緩やかになるなか、円高の影響もあり、前年同期から減少しました。内外需の減少を受け、粗鋼生産は、前年同期比4%減の5,331万トンとなりました。

このような状況の下、鋼材セグメントは震災影響等により減益となったものの、機材・産業機械セグメントは好調なロシア向け輸出取引を中心に増益となりました。

この結果、当第2四半期における当社グループの業績は、前年同期と比較し、売上高は324億円、6.2%の増収となる5,556億円となりました。営業利益は44百万円、0.8%の増益となる57億93百万円となり、経常利益は1億27百万円、2.1%の増益となる61億8百万円となりました。四半期純利益はほぼ前年同期並みの34億89百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

#### （鋼材）

国内鋼材については、震災影響があったものの、販売数量は前年同期並みとなり、原料価格上昇を背景に販売価格は上昇しました。この結果、単体の売上高は前年同期比増収となりましたが、コイルセンターなど連結子会社は、震災影響が大きく、減収となりました。

海外鋼材については、中国向けは減少したものの、その他のアジア地域向けを中心に増加し、販売価格の上昇もあり、単体の売上高は前年同期比増収となりました。海外子会社は、震災影響などから減収の会社があったものの、米国の販売子会社の好調などから、全体では増収となりました。

これらにより、鋼材セグメントの売上高は357億円、9.0%の増収となる4,330億円となりましたが、セグメント利益は2億67百万円、6.9%の減益となる36億13百万円となりました。

#### （原燃料）

震災影響による内外需要産業の活動水準の低下に伴い、鉄鋼メーカーが減産したことから、半成品、ステンレス屑、コークスなどの取扱が減少し、単体の売上高は前年同期比減収となりました。豪州における石炭権益を保有する子会社は僅かながら増収となりました。

これらにより、原燃料セグメントの売上高は116億円、11.4%の減収となる898億円となりましたが、セグメント利益は微増の10億36百万円となりました。

#### （機材・産業機械）

機材については、震災影響や新日鐵など国内メーカーの設備投資が伸び悩んだことから、単体の売上高は前年同期並みとなりました。国内のクレーン製造販売子会社は、需要家の設備投資減少や他メーカーとの競合激化により減収となりました。

産業機械については、堅調なエネルギー関連投資を背景として、ロシア向けに建設機械、機械部品やパイプライン用鋼材などの輸出が増加し、単体の売上高が大幅な増収になるとともに、建機関連事業を行うロシア子会社の売上高も上伸しました。

これらにより、機材・産業機械セグメントの売上高は82億円、33.5%の増収となる327億円、セグメント利益は3億56百万円、32.4%の増益となる14億57百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、リース債権の増加があったものの、売掛金及び受取手形の減少や在庫の圧縮等があり、前期末比55億円の減少となる3,268億円となりました。

負債合計は、貿易債権流動化債務の増加があったものの、仕入債務の減少により、前期末比37億円の減少となる2,726億円となりました。

純資産合計は、当第2四半期での四半期純利益の計上があったものの、配当金支払や種類株式Bの一部取得・消却及び保有株式等の時価下落があったことにより、前期末比18億円の減少となる541億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前期末比微増の203億円となりました。

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払があったものの、四半期利益による収入に加え、仕入債務の減少を売上債権やたな卸資産の減少が上回った結果、65億円の収入（前年同期は17億円の支出）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは8億円の支出（同6億円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や種類株式Bの一部取得や借入金の返済があり55億円の支出（前年同期は13億円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、タイの洪水の深刻化によるタイ向け鋼材輸出の減少、現地子会社の業績悪化が不可避になったことに加え、欧州の財政・金融不安の実体経済への波及などにより、新興国を含む世界的な鉄鋼需給の緩和が懸念されることから、業績予想を修正しております。

平成23年9月16日に発表した業績予想に対する修正後の業績予想値は下記のとおりであります。

平成24年3月期通期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,210,000	13,000	13,000	8,000	59.05
今回修正予想 (B)	1,180,000	12,000	12,000	7,500	55.33
増減額 (B - A)	△30,000	△1,000	△1,000	△500	—
増減率 (%)	△2.5	△7.7	△7.7	△6.3	—

平成24年3月期通期の個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,110,000	9,300	5,500	40.45
今回修正予想 (B)	1,090,000	8,900	5,300	38.96
増減額 (B - A)	△20,000	△400	△200	—
増減率 (%)	△1.8	△4.3	△3.6	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,593	21,727
受取手形及び売掛金	225,331	220,212
リース債権及びリース投資資産	5,877	8,844
商品及び製品	31,500	27,202
その他	9,786	11,056
貸倒引当金	△698	△655
流動資産合計	293,390	288,387
固定資産		
有形固定資産	15,456	15,888
無形固定資産		
のれん	53	32
その他	1,997	1,778
無形固定資産合計	2,050	1,811
投資その他の資産		
その他	21,975	21,198
貸倒引当金	△482	△468
投資その他の資産合計	21,492	20,730
固定資産合計	38,999	38,429
資産合計	332,390	326,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,066	163,452
電子記録債務	4,320	5,712
短期借入金	62,906	62,079
貿易債権流動化債務	5,282	3,999
未払法人税等	3,690	2,312
引当金	1,016	958
その他	8,694	9,769
流動負債合計	253,977	248,285
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
貿易債権流動化債務	3,383	5,726
引当金	799	780
その他	3,263	2,879
固定負債合計	22,445	24,386
負債合計	276,423	272,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	8,750
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	33,846	32,605
自己株式	△68	△69
株主資本合計	51,277	50,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411	△116
繰延ヘッジ損益	30	113
為替換算調整勘定	△3,559	△3,542
その他の包括利益累計額合計	△3,117	△3,545
少数株主持分	7,808	7,654
純資産合計	55,967	54,145
負債純資産合計	332,390	326,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	523,253	555,668
売上原価	500,675	532,415
売上総利益	22,577	23,252
販売費及び一般管理費	16,829	17,458
営業利益	5,748	5,793
営業外収益		
受取利息	170	143
受取配当金	89	64
為替差益	37	67
持分法による投資利益	391	404
その他	282	391
営業外収益合計	970	1,072
営業外費用		
支払利息	604	597
その他	134	159
営業外費用合計	738	757
経常利益	5,980	6,108
特別利益		
負ののれん発生益	—	10
投資有価証券売却益	26	—
特別利益合計	26	10
特別損失		
投資有価証券評価損	27	199
減損損失	29	75
事業整理損	367	—
固定資産売却損	95	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
特別損失合計	574	274
税金等調整前四半期純利益	5,432	5,843
法人税等	1,805	2,313
少数株主損益調整前四半期純利益	3,626	3,530
少数株主利益	123	41
四半期純利益	3,502	3,489

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,626	3,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	△520
繰延ヘッジ損益	13	82
為替換算調整勘定	△613	123
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	△148
その他の包括利益合計	△1,038	△462
四半期包括利益	2,588	3,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,530	3,061
少数株主に係る四半期包括利益	57	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,432	5,843
減価償却費	736	780
減損損失	29	75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△48
その他の引当金の増減額(△は減少)	63	△107
受取利息及び受取配当金	△259	△208
支払利息	604	597
持分法による投資損益(△は益)	△391	△404
投資有価証券売却損益(△は益)	△26	—
負ののれん発生益	—	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	27	199
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	95	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
事業整理損失	367	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,082	1,903
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,712	4,163
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△192	△1,026
仕入債務の増減額(△は減少)	3,315	△3,061
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,382	△855
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△2,963	2,215
その他	125	81
小計	△1,019	10,138
利息及び配当金の受取額	306	302
利息の支払額	△614	△600
法人税等の支払額	△446	△3,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,774	6,567

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△135	△74
定期預金の払戻による収入	—	27
有形及び無形固定資産の取得による支出	△356	△461
有形及び無形固定資産の売却による収入	189	10
投資有価証券の取得による支出	△405	△251
投資有価証券の売却による収入	61	—
貸付けによる支出	△21	△11
貸付金の回収による収入	13	29
その他	41	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△614	△877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,990	3,804
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△7,000	△4,500
リース債務の返済による支出	△14	△18
自己株式の取得による支出	△2,000	△4,000
配当金の支払額	△1,097	△729
少数株主への配当金の支払額	△53	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,323	△5,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△375	△99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,439	59
現金及び現金同等物の期首残高	16,297	20,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,857	20,364

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	397,268	101,426	24,558	523,253	—	523,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	0	4	△4	—
計	397,271	101,426	24,559	523,257	△4	523,253
セグメント利益（経常利益）	3,881	997	1,100	5,979	1	5,980

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	433,049	89,823	32,795	555,668	—	555,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	0	3	△3	—
計	433,052	89,823	32,795	555,671	△3	555,668
セグメント利益（経常利益）	3,613	1,036	1,457	6,106	1	6,108

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月30日付で自己株式（種類株式B）400千株を4,000百万円で取得し、同日これを全株消却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が4,000百万円減少しております。

なお、利益剰余金の当第2四半期連結累計期間の変動内容（要約）は以下のとおりであります。

	利益剰余金
平成23年3月31日 残高 (百万円)	33,846
当第2四半期連結累計期間中の変動額	
剰余金の配当	△729
四半期純利益	3,489
自己株式の消却	△4,000
当第2四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	△1,240
平成23年9月30日 残高 (百万円)	32,605